

## 鐵鋼ニュース

### ビルマの製鋼所建設

ビルマ政府は、ランゲン郊外フライン河東岸に、デマーグ社より購入決定した電炉を中心とする製鋼所を建設中であるが、生産開始の予定は1956年末とみられている。

能力は第1次2万～2万5千tで、亜鉛鉄板用薄板および釘が主力であり、最終目標は5万tといわれる。主要原料計画としては鉄屑ストックおよび発生屑を充て、15t電炉を使用するが、将来は熔鋸炉建設を目標としている。

一方この製鋼工場に供給するため、ビルマ電力廠の火力発電所を建設中で、1万k.w. 発電機2基(差当り1基)を設置する。

なおビルマの鉄鋼需要は年間4万t(全量輸入)で、この工場の建設によつても半分の需要を充たすに過ぎずさらに多量の輸入が見込まれている。

### 中国見本市開催

中国国際貿易促進委員会では10月18日より31日まで東京月島町海埠頭で中国見本市を開催、鉄鋼関係についての出品物は(1)日本の工業原料に必要な中国産物として石炭、鉄鉱石、ばん士頁岩、螢石、マグネサイト等、(2)発展しつつある新中国の重工業紹介として機械、金属、冶金製品などが展示された。

### 棒鋼等の輸出停止

通産省は、輸出好調による鉄鋼価格高騰に対処して、かねてから鉄鋼の需給および価格安定対策を検討中であつたが、10月15日普通鋼々材などの輸出に関する臨時措置として銑鉄などの輸出承認を停止する次のような措置を決定発表した。

1. 10月17日以降銑鉄、半製品、厚板(中板を含む)棒鋼、および形鋼の輸出契約は当分の間承認しない。
2. 鋼管および軌条の輸出についても契約の実情に応じてこれを調整する。

従つて当分の間銑鉄など5品目の輸出は停止されることになるが、通産省では、今回の措置はあくまで鉄鋼の安定を目的としたもので、輸出を伸ばそうとする態度に変わりはなく、業界自体に原料および価格を安定させる態勢ができた時は直ちに輸出承認を再開する方針とのことである。鋼管および軌条の輸出については、主としてプラント輸出等との関係から外国取引先に迷惑をかけないため今回の措置では契約の実情に応じてこれを調整することとなつた。また今回の措置はこれまでに輸出承認を行つた契約については適用されず、国によつての差別的な取扱いはされない。

このような輸出調整措置と並行して、通産省で鉄鋼原料に対する直接的な対策として、銑鉄および鋼材の輸入促進ないし緩和、鉄屑の輸入増加と共同買付方式の推進、国有老機械等の払下げ促進についても強力な措置を実施する方針である。

### 30年度試験研究補助金の決定

工業技術院では本年度試験研究補助金を決定、発表したが、その内金属関係のものを挙げれば次の通りである。(補助額単位千円)

#### ○工業化試験

(1)砂鉄中より銑鉄およびチタン原料の製造の中間工業化試験—富士製鉄(株)13,000、(2)硫酸滓の完全利用と量的処理の研究—日本銑鉛工業(株)12,000、(3)二塩化チタニウム熱分解による不純チタニウムの精製試験—(株)石塚研究所5,000、(4)特殊マグネシウム合金鑄物の工業化試験—(株)神戸製鋼所7,500、(5)硫酸滓を原料とする鉄粉の製造方法—北陸化工(株)14,000

#### ○応用研究

(1)鉛添加による高級快削の研究—大阪特殊製鋼(株)1,100、(2)フェロアロイのブリケット製造研究—東北電気製鉄(株)800、(3)エレベーター式電気焼鈍炉の雰囲気制御による可鍛鑄鉄品の品位向上の研究—木村可鍛鑄鉄工業(株)400、(4)帯鋼の機械的酸化皮膜除去方法の研究—日本金属(株)1,450、(5)継目無不銹鋼々管引抜に関する研究—日本特殊鋼管(株)800、(6)鋼の冷間押出加工性の研究—住友金属工業(株)500、(7)高級耐蝕耐酸鋼および合金の加工性、耐蝕性に対する系統的諸試験—日本ステンレス(株)750、(8)ジェットエンジン、船舶、発電機などのガスタービン用耐熱材料の製造研究—(株)日立製作所400、(9)ニッケル基超耐熱合金に関する研究—住友金属工業(株)750、(10)東北地方の低品位チタン砂鉄の製錬に関する応用研究—日鉄鋳業(株)1,000、(11)Zone Melting 精製法に関する研究—古河電気工業(株)600、(12)珪灰鉄鉱中のゲルマニウム製錬法の研究—蔵内尾平鋳業所700、(13)純珪素の製造研究—東海電極工業(株)450、(14)緑柱石より純酸化ベリウムの分離と銅ベリウム合金の製造研究—横浜化学工業(株)700、(15)緑柱石より純酸化ベリウムの分離と銅ベリウム合金の製造研究—三徳金属工業(株)700、(16)特殊アルミニウム青銅の推進器材への利用研究—三菱金属鋳業(株)400、(17)粉末冶金用鉄粉の廉価な製造法の研究—東京焼結金属(株)400、(18)粉末冶金法による小型MK磁石の試作研究—東京タングステン(株)600、(19)亜鉛鉄板の鍍金技術の研究—亜鉛鉄板協会1,400、(20)AlおよびAl合金のクロム鍍金の研究—千代田光学精工(株)700、(21)時効性銅合金の焼入法の研究—三菱電機(株)500、(22)チタンの選鉱、分析および利用に関する研究—チタニウム懇話会1,200、(23)銅鉱石類より硫化ゲルマニウムの製錬法の研究—増富鋳山(株)700。

### 映画「日本の鉄鋼」の完成

日本鉄鋼輸出組合では、かねて日本亜鉛鉄板輸出組合の協力を得て、わが国鉄鋼業の現状を広く海外に紹介する目的で、天然色映画「日本の鉄鋼」(Iron and Steel Making in Japan)の製作中であつたが、一年余の時日を費してこの程完成、披露試写会を行つた。-1218頁へつゞく-